

9月27日(水)

8:55 LOC委員長挨拶

特別セッション 最優秀発表賞選考 座長 千秋 博紀

- S1 9:00 古海洋・厚いCO₂大気環境のもとでの火星古気候シミュレーション-水循環・熱慣性の及ぼす影響
鎌田 有紘 (東北大)
- S2 9:15 ALMA分光観測による原始惑星系円盤のH₂Oスノーラインの同定可能性
野津 翔太 (京大)
- S3 9:30 原始惑星系円盤上における巨大渦の構造と性質
小野 智弘 (京大)
- S4 9:45 小惑星の衝突破壊・自己重力再集積による細長い形状の形成条件
杉浦 圭祐 (名大)
- S5 10:00 「かぐや」連続スペクトルデータを用いた月の後期火成活動における玄武岩の鉄物量比の推定
加藤 伸祐 (名大)
- 10:15 休憩 (5分)
- S6 10:20 中性pHにおけるFe²⁺光酸化反応の実験的研究: 初期火星の表層酸性化イベントに対する示唆
田畑 陽久 (東大)
- S7 10:35 多面体重力場計算モデルを用いた太陽系小天体内部の密度分布推定
金丸 仁明 (阪大)
- S8 10:50 エウロパ内部海の熱水環境における硫酸還元反応
丹 秀也 (東大)
- S9 11:05 土星衛星エンセラダスのプリューム組成に対する氷・クラスレートハイドレート形成の影響
西谷 隆介 (阪大)
- 11:20 休憩 (10分)

超小型探査機 座長 藤本 正樹、杉田 精司

- I1 11:30 超小型探査機による惑星探査技術の開発
杉田 精司 (東大)
- I2 11:40 超小型大気圏突入探査機の可能性: EGGからsuperEGG、さらにその先へ
鈴木 宏二郎 (東大)
- I3 11:50 東京大学における超小型深宇宙探査ミッションの成果と将来: PROCYON・EQUULEUS
船瀬 龍 (東大)
- I4 12:00 超小型宇宙探査機用推進系のこれまでと今後の展望
小泉 宏之 (東大)
- I5 12:10 超小型深宇宙探査機EQUULEUSによる月面衝突閃光を通じた太陽系小天体探査
阿部 新助 (日大)
- I6 12:20 超小型探査機による光学観測手法の惑星科学への応用
吉岡 和夫 (東大)
- I7 12:30 超小型探査機による火星大気散逸科学へのアプローチ ~火星大気Ne同位体測定に向けた超小型
質量分析装置の研究・開発 奥野 衛 (東大)
- I8 12:40 超小型探査機による惑星観測に向けた粒子計測器の開発
笠原 慧 (東大)
- 12:50 昼食 **パネルディスカッション (超小型探査機)**

系外惑星 座長 田中 佑希

- A1 13:50 岡山188cm望遠鏡/MuSCATを用いた多色トランジット観測の成果と展望
福井 暁彦 (国立天文台)
- A2 14:00 新しい4色同時撮像カメラMuSCAT2の開発と今後の小型低質量系外惑星探索の展望
成田 憲保 (東大)
- A3 14:10 紫外線宇宙望遠鏡WSO-UVによる系外惑星サイエンス
生駒 大洋 (東大)
- A4 14:20 短周期ガス惑星の質量放出と大気構造の惑星磁場強度への依存性
田中 佑希 (鹿児島大)
- A5 14:30 中心星近傍をまわる岩石惑星の質量損失: ミネラル大気の散逸
伊藤 祐一 (東大)
- A6 14:40 大気海洋海氷結合モデルを用いた全球海惑星気候の太陽定数依存性に関する研究
河合 佑太 (神戸大)
- 14:50 休憩 (10分)

原始惑星系円盤 座長 瀧 哲朗

- B1 15:00 始原的炭素質コンドライトMIL090657マトリクスにおける水質変成度の異なる岩相のTEMによる
微細組織観察 杉本 美弥菜 (京大)

- B2 15:10 粉体流中のアグリゲイト形成実験
長足 友哉 (神戸大)
- B3 15:20 氷マントルダストのサイズ分布とダスト付着成長への影響
田中 秀和 (東北大)
- B4 15:30 原始惑星系円盤内のダスト・クランプ形成と個々のダスト粒子の運動
関谷 実 (九大)
- B5 15:40 スノーライン近傍におけるコンドリュールの形成
城野 信一 (名大)
- B6 15:50 磁気流体計算に基づいた原始惑星系円盤の降着加熱
森 昇志 (東工大)
- B7 16:00 デッドゾーン内縁における岩石ダストの濃集不安定性
植田 高啓 (東工大)
- B8 16:10 磁場駆動円盤風によって進化する原始惑星系円盤中でのダスト面密度進化
瀧 哲朗 (国立天文台)
- B9 16:20 デブリ円盤の化学構造
岩崎 一成 (阪大)

16:30 ポスターセッション 1

18:00 終了

9月28日(木)

衝突 座長 末次 竜

- F1 8:50 Ivuna隕石 (CI)に見られる複数の岩相中のマトリクスの3次元構造の研究
北山 晃 (京大)
- F2 9:00 天体表面でのレコリス粒子の摩耗を模擬したコンドライト隕石粒子の摩耗実験：3次元外形の変化
小川 倫弘 (京大)
- F3 9:10 数10 μ mサイズ微小衝突破片の3次元形状分布～イトカワ粒子との比較
門川 隆進 (京大)
- F4 9:20 無隔膜開放系における衝突蒸発実験手法の開発
黒澤 耕介 (千葉工大)
- F5 9:30 フラッシュX線を用いた衝突破壊現象の観測
岡崎 昌志 (神戸大)
- F6 9:40 クレーターイジェクタのスケール則に対する衝突速度依存性
松榮 一真 (神戸大)
- F7 9:50 インドシナ半島における、79万年前の小天体衝突イベント起源の衝撃変成石英の発見
多田 賢弘 (東大)
- F8 10:00 iSALEによる重力支配域での微惑星の衝突計算
末次 竜 (産業医科大)
- F9 10:10 月面衝突閃光候補の超低分散スペクトル観測
柳澤 正久 (電通大)
- 10:20 休憩 (10分)

月 座長 熊本 篤志

- G1 10:30 SELENEレーダサウンダ観測に基づく月地下構造データベースの構築
熊本 篤志 (東北大)
- G2 10:40 衝突盆地周辺の岩石組成から推定する月マントル化学組成の推定
大竹 真紀子 (JAXA/ISAS)
- G3 10:50 月の地形が月震波の伝搬に及ぼす影響の評価
小野寺 圭祐 (総研大)
- G4 11:00 珪酸塩鉱物中におけるOH/H₂Oの温度安定性の実験的検証
仲内 悠祐 (会津大)
- G5 11:10 月における地下空洞の構造の解析～月レーダーサウンダー (LRS)を用いた地下空洞の探索～
郭 哲也 (東海大)
- 11:20 昼食

12:10 ポスターセッション 2

探査I 座長 小川 和律

- H1 13:20 月火星の地下空洞直接探査UZUME計画 その2
春山 純一 (JAXA/ISAS)
- H2 13:30 Direct Altimetryデータを用いる新手法による「かぐや」の精密軌道決定と精度評価 (序報)
石原 吉明 (JAXA/ISAS)
- H3 13:40 月周回衛星「かぐや (SELENE)」データの長期保存対応

- 山本 幸生 (JAXA/ISAS)
- H4 13:50 SLIM観測運用検討のための着陸地景観シミュレーション
佐伯 和人 (阪大)
- H5 14:00 月面水の同位体分析に向けた宇宙機搭載用光学分析装置の開発
山中 千博 (阪大)
- H6 14:10 DESTINY+ミッションが目指す流星群母天体Phaethonのフライバイ観測と惑星間ダストのその場観測
荒井 朋子 (千葉工大)
- H7 14:20 DESTINY+ミッション搭載用超望遠モノクロカメラ (TCAP) およびマルチバンドカメラ (MCAP)
石橋 高 (千葉工大)
- H8 14:30 DESTINY+搭載用ダストアナライザ
小林 正規 (千葉工大)
- H9 14:40 JUICE 搭載ガニメデレーザ高度計 (GALA) – 概要および国内開発状況
塩谷 圭吾 (JAXA/ISAS)

探査II 座長 石原 吉明

- H10 14:50 火星表面での現場顕微鏡観察のための生命探査顕微鏡 (LDM) 開発の現状
山岸 明彦 (東京薬科大)
- H11 15:00 火星探査の新しい戦略と火星探査技術実証
藤田 和央 (JAXA)
- H12 15:10 火星着陸探査に向けたLIBS-QMS法を用いたその場K-Ar年代測定装置の開発
堀内 美沙 (立教大)
- H13 15:20 火星衛星探査機搭載用望遠カメラと広角分光カメラの設計
長田 直也 (立教大)
- H14 15:30 火星衛星探査計画のための分離カメラ (MMX-DCAM5) の検討状況
小川 和律 (神戸大)
- H15 15:40 はやぶさ2着陸地点選定運用訓練のための仮想Ryuguデータ作成
田中 智 (JAXA/ISAS)
- H16 15:50 はやぶさ2着陸地点選定訓練: データ解析・検討
渡邊 誠一郎 (名大)
- H17 16:00 はやぶさ2可視カメラの撮像模擬実験
諸井 圭市 (立教大)
- H18 16:10 地球外物質研究グループによるはやぶさ2 試料受入準備
安部 正真 (JAXA/ISAS)
- H19 16:20 「宇宙科学の今後20年の構想を検討する委員会」活動報告
今村 剛 (東大)
- 16:30 休憩 (10分)

16:40 日本惑星科学会総会

17:40 最優秀研究者賞受賞講演 (座長 中本 泰史)
観測が明かす原始惑星系円盤と惑星系の姿 秋山 永治 (国立天文台)

18:30 会場移動

18:50 懇親会

9月29日(金)

アストロバイオロジー・惑星表層・大気 座長 山本 聡、大野 宗祐

- D1 8:50 水惑星学の創成
関根 康人 (東大)
- D2 9:00 地球型水惑星における暴走温室効果発生に対する表層水分分布依存性
小玉 貴則 (東大)
- D3 9:10 高解像度金星大気シミュレーションで再現された惑星規模のストリーク構造
檜村 博基 (神戸大)
- D4 9:20 地球型惑星最初期進化の惑星サイズ依存性
小河 正基 (東大)
- D5 9:30 火星隕石ナクライト・シャシナイト起源岩体の関係について
三河内 岳 (東大)
- D6 9:40 火星の地軸傾斜の変動に伴う火星二酸化炭素システムの応答の解析
渡辺 泰士 (東大)
- D7 9:50 放射冷却が原始火星大気の流体力学的散逸に与える影響
吉田 辰哉 (北大)
- D8 10:00 高解像度の火星大気ラージエディーションシミュレーションで得られた地表面応力
村橋 究理基 (北大)
- 10:10 休憩 (10分)

- D9 10:20 大気球による成層圏微生物採取実験：Biopauseプロジェクト
大野 宗祐（千葉工大）
- D10 10:30 原始惑星大気中でのアミノ酸前駆体生成におよぼす恒星エネルギー粒子の役割
小林 憲正（横浜国大）
- D11 10:40 隕石母天体での星間有機物変成に関する実験的研究
平川 尚毅（京教大）
- D12 10:50 南極微隕石中の可溶性有機物の検出を目指して
山本 康太（東大）
- D13 11:00 粘土鉱物存在下の低温での核酸塩基とリボースからのヌクレオシド合成
橋爪 秀夫（物質・材料研究機構）
- D14 11:10 観測衛星による連続分光データを使った月面上のD型類似スペクトルの全球搜索
山本 聡（国立環境研）
- D15 11:20 火山噴火準備過程における脱ガス現象の機構の提案 —しゃぼん液による脱ガスアナログ実験—
桶間 千遥（阪大）
- 11:30 昼食

惑星形成 座長 藤井 悠里

- C1 12:30 小石集積による巨大惑星の形成
森島 龍司（カリフォルニア大）
- C2 12:40 ペブル集積によるガス惑星周りの衛星形成
芝池 諭人（東工大）
- C3 12:50 磁場駆動円盤風の影響下で進化する円盤中でのスーパーアース系形成
荻原 正博（国立天文台）
- C4 13:00 惑星移動する原始惑星へのガス降着
堀 安範（自然科学研究機構）
- C5 13:10 高解像度N体計算による月形成シミュレーション
佐々木 貴教（京大）
- C6 13:20 周惑星円盤の形成と温度構造について
藤井 悠里（名大）
- C7 13:30 星雲ガス中で集積する岩石惑星内部のD/H
齊藤 大晶（高知工大）
- C8 13:40 還元的な大気下での惑星初期進化の軌道依存性
濱野 景子（東工大）
- 13:50 休憩（10分）

衛星・小天体 座長 寺居 剛、樋口 有理可

- E1 14:00 土星系氷衛星の熱進化：エンセラダスとディオネの内部海
鎌田 俊一（北大）
- E2 14:10 土星中型衛星の軌道進化とエンケラドスの潮汐加熱
中嶋 彩乃（東工大）
- E3 14:20 ガニメデ上のFurrow構造の起源に関する研究
平田 直之（神戸大）
- E4 14:30 惑星に一時捕獲された小天体の捕獲軌道滞在時間
樋口 有理可（東工大）
- E5 14:40 巨大衝突説から予測される火星衛星の構成粒子について
兵頭 龍樹（東工大）
- E6 14:50 火星原始大気回転を考慮した火星衛星の捕獲説
鈴木 智浩（東工大）
- E7 15:00 フォボスの形成仮説に応じた模擬土壌の開発
宮本 英昭（東大）
- E8 15:10 フォボスのBlue Unitと三次元形状モデルを用いたイジェクタの分布
菊地 紘（東大）
- E9 15:20 誘導熱プラズマ装置を用いたSi-Fe-Mg-O-S系での微粒子合成実験：GEMS模擬粒子の合成に向けて
河野 颯（京大）
- E10 15:30 エンスタタイトへの1 keV水素イオン照射による太陽風宇宙風化模擬実験
浅田 祐馬（京大）
- E11 15:40 宇宙風化作用に対する硫黄の影響
田中 宏和（阪大）
- 15:50 休憩（10分）
- E12 16:00 Juvinas隕石の変成履歴
金丸 礼（総研大）
- E13 16:10 すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam による木星トロヤ群サーベイ
寺居 剛（国立天文台）

- E14 16:20 ソーラー電力セイルによる木星トロヤ群小惑星探査計画における着陸その場高分解能質量分析
癸生川 陽子 (横浜国大)
- E15 16:30 ソーラー電力セイル (SPS) ミッションによるトロヤ群小惑星の科学観測
岡田 達明 (JAXA/ISAS)
- E16 16:40 木星トロヤ群小惑星からのサンプル採取装置の開発
岡本 千里 (法政大)
- E17 16:50 小惑星イトカワの表面に見られる白色地域の成因
北里 宏平 (会津大)
- E18 17:00 小天体表層の振動圧密特性に関する実験的研究—粒子間力の効果
大村 知美 (神戸大)
- E19 17:10 凹凸表面のボンドアルベドの数値計算
千秋 博紀 (千葉工大)
- E20 17:20 地球とほぼ同じ公転周期を持つ小惑星の軌道運動と探査の可能性
吉川 真 (JAXA/ISAS)
- E21 17:30 地球衝突天体を発見した時、我々はどのように対応すべきか
浦川 聖太郎 (日本スペースガード協会)
- E22 17:40 小惑星帯の起源(マルチインパクト仮説による) ~木星の重力により惑星に成れなかった
と云う迷信を排し、イトカワ等の分化した小惑星の謎を解明 種子 彰(SEED SCIENCE Labo.)
17:50 終了 散会